

金沢美術工芸大学 客員教授・株式会社オープンハウス代表取締役

益田文和氏講演会

「デザイン＝環世界造形」 的SDGs批判

生物学者ユクスキユルが提唱する“*umwelt*”を日高敏隆は「環世界」と訳した。

マックスビルは*design*を*umwelt gestaltung*つまり環世界造形と定義した。

ヒトはしよせんヒトの環世界を形成することしかできないとすれば、その世界を

サステナブルにするためのSDGsはヒトにとって都合の良いものでしかないか？

ヒト以外の動物の目を通してSDGsとそのデザインを眺めてみる。

益田文和

1月18日(火) 17:45~19:15
金沢美術工芸大学 視聴覚教室

【お問い合わせ】 金沢美術工芸大学 製品デザイン専攻 安島研究室

講師プロフィール 益田文和氏

金沢美術工芸大学 客員教授、株式会社オープンハウス 代表取締役

1973年東京造形大学デザイン学科卒業後、建設会社、デザインオフィスを経て、1978年以降フリーのデザイナーとして家電をはじめとする様々な製品のデザイン開発や地域産業のデザイン振興に関わる。frog design(ドイツ)を経て株式会社オープンハウス設立。1990年代初頭からエコデザインの活動を開始し、2006年から2016年まで毎年サステナブルデザイン国際会議を主催。東京造形大学デザイン学科教授(インダストリアルデザイン/サステナブルプロジェクト)を退職後、活動拠点を東京都心から山口県に移転し、国内外、特にアジア各国でサステナブルデザインのプロジェクトを手掛けている。グッドデザイン賞審査委員を22年間務め、現在は環境省グッドライフアワード実行委員長、キッズデザイン賞審査委員長、IAUD国際デザイン賞及びウッドデザイン賞審査委員など。